

援農隊の創設による園芸産地振興に向けた取組<<静岡県西部地域(浜松市・湖西市)>>

【事業の実施方針】

1. JAとびあ浜松は静岡県内でも有数の園芸作物産地である。園芸作物は機械化が進んでおらず、人の手による作業が中心である。
2. 管内農家の平均年齢は66.4歳で、高齢化が進んでいるため、定植・防除・剪定など作業全般に渡り、労働力が不足している。特に収穫時の労働力不足が顕著で、生産面積の減少を招いている。また、若手農業者については、収穫時の労働力不足が規模拡大の妨げにもなっている。
3. このため、本事業により各品目で必要な援農者を確保・育成し、営農の維持や規模拡大による所得向上を図る。



【事業の主な内容】

≪26年度≫

- ・基礎調査の実施
- ・援農隊設置検討
- ・援農隊員の育成研修
- ・援農隊の組織育成支援の実施

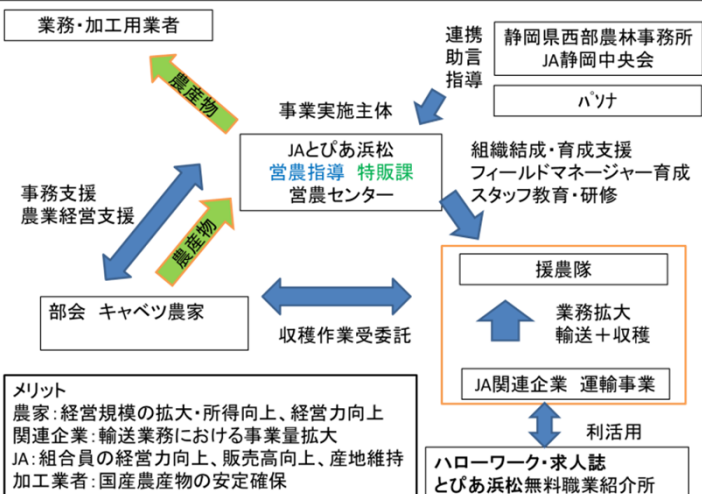
≪27年度≫

- ・援農隊運営支援

≪28年度≫

- ・援農者の本格稼働

【事業実施体制】



【特徴的な取組】

1. 当JA特販課による業務加工用に販路を持ち、販路拡大により組合員所得向上に取り組んでいる。
2. JAが事業実施主体となり、関連企業に対して援農隊の組織結成、育成支援を行う。
援農隊フィールドマネージャー育成、スタッフ育成では組合員農家が培った作業工程を紹介し、現場にて充実した研修が実施できる。